



## ☆ 新しい学習指導要領 全面実施！

### 来年度(2020年4月)から

文部科学省が約10年ごとに改定する「学習指導要領」が来年度から完全実施となります。

保護者の皆様には昨年度、文部科学省から新学習指導要領について解説されたリーフレットを配布しましたが、改めてその概要をお知らせしておきます。

新しい学習指導要領では、教育課程全体や各教科などの学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことを目指し、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の視点からの授業改善を重要視しています。

また、新しい学習指導要領の下で学ぶ内容で加わることとして、「外国語教育」や「プログラミング教育」などがあります。本校では、昨年度から新学習指導要領の完全実施へ向け、移行期間(2年間の準備期間)として、特別の教科である道徳の時間については、全教職員で研究を重ね、文科省のキーワードである「考え、議論する道徳」の授業に向けて様々な指導方法を取り入れた授業を展開しています。

すでに今年度から、「外国語活動」も、先行実施で3年生にも外国語活動を行っており、「プログラミング学習」については、来年度からの実施へ向け、全職員でスクラッチというソフトを使って全職員、研修を行い、スムーズな実施へ向けての準備を行っています。

これからも、教職員一同、新しい学習指導要領のもとで4月から、より分かりやすい、楽しい授業を展開できるよう努力をしております。家庭学習につきましては、保護者の方々にお願いすることもあります。学校と家庭の両輪がひとつとなって、子どもたちの学びがさらに充実していくことができるようご協力をお願いいたします。



新しい学習指導要領の詳細は、文部科学省のHPに詳しく動画等で紹介されております。QRコードを掲載しておりますので、どうぞご活用ください。

## ☆ 教職員の指導に関するアンケートについて

教職員の指導に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。今回のアンケートで、指導に配慮が足りなかったと思われる部分については、管理職が本人と面談をして、今後の指導に繋げるようにしています。まだまだ、改善を要する部分もありますが、頑張りをお示しいただいた言葉もたくさんあり、職員の励みになっています。これからも、保護者の皆様からの情報も生かし指導に繋げたいと考えています。

また、これからも、教職員の指導に関して気になることや子供たちのいじめやふるまいなどについて気づきがありましたら、すぐに教頭、校長まで連絡をしてください。よろしくお祈りいたします。

お詫びと修正 前号の人権標語で、クラスと氏名が間違っていましたので修正をお知らせします。ご迷惑をおかけしました。

3-1 いじわるは 一回だけで きずつくよ (天野 はるた)

3-2 あいさつは なかまになれる 合い言葉 (野村 かな)

5-1 命は 家族にもらった 宝物 (栗山 ももは)

5-2 守ろうよ 君との絆 ただひとつ (木下 ちひろ)

# ☆ 学校をよりよくするためのアンケート結果

学校をよりよくするためのアンケートの集計とその結果について分析し、主な項目についてコメントを載せていますので、お知らせします。

全体的には、どの項目についてもおおむねよい評価をいただいています。課題であると思われるところについては、今後も継続した対応を行ってまいります。ご家庭でのご協力もあわせてお願いします。

年度	平成30年度					令和元年度					よく当てはまる……………当てはまらない		
	4	3	2	1	平均値	4	3	2	1	平均値			
5	お子様は、余裕をもって朝起きることができていますか？												
	29%	36%	28%	8%	2.9	29%	42%	23%	6%	2.9	29%	42%	23%
6	お子様は、毎日、朝食を食べて登校していますか？												
	83%	14%	2%	1%	3.8	86%	12%	2%	0%	3.8	86%	12%	2%
7	お子様は、1・2年生:9時、3・4年生:9時30分、5・6年生:10時までに就寝していると思われませんか？												
	36%	33%	23%	8%	3.0	39%	31%	25%	6%	3.0	39%	31%	25%
<p>項目5・6・7は、朝起きる時間・寝る時間・朝食は、成長期の児童にとっては、学力と体力、心の元気を考えるときに大変重要な要素です。</p> <p>朝食に関しては、98%の児童が当てはまると回答しており昨年度同様高い回答でした。しかし、残りの2%の児童に関しては十分な配慮が必要で、朝食で午前中からしっかり活動できるための栄養素を摂ることと、よく噛んで食べることが大切です。『噛むこと』で脳が覚醒し活発になり、胃に送られた食べ物で腸や大腸が動き始め、内臓も目覚めます。それが朝の排便習慣にもつながります。このようなことを考えると朝の時間に余裕がないとなかなかできません。そこで、早起きが必要となります。項目5は、昨年度より若干改善はしているものの30%ほどの改善が望まれます。</p> <p>項目7の起床時間にも関わる就寝時間も昨年と変わらず3人に1人は改善が望まれるようです。睡眠には心身の疲労を回復させる働きのほかに、脳や体を成長させる働きがあります。</p> <p>以上から今後も「早寝・早起き・朝ごはん」については、繰り返し指導と啓発をしていく必要があるようです。</p>													
8	学校は、分かりやすい授業を行い、学力向上に努めていると思われませんか？												
	33%	63%	3%	1%	3.3	36%	60%	4%	0%	3.3	36%	60%	4%
<p>教職員としては気になる項目です。当てはまる回答が全体96%と昨年度と同じく高回答でした。教職員の指導と支援の結果でもあり、苦勞が報われるところでもあります。今後も児童が学び合う環境づくりに努めていきます。</p>													
11	学校は避難訓練(不審者・火災・地震)を実施していますが、ご家庭で緊急時のことを話す機会がありましたか？												
	21%	43%	32%	4%	2.8	16%	47%	33%	4%	2.7	16%	47%	33%
<p>当てはまる回答は、思ったより伸びていませんでした。当てはまらない回答が37%と昨今の自然災害の多発の様子を考えると緊急時の対応についてのお話は必要と考えます。学校での避難訓練は、不審者や地震、火災想定で行っています。地区ごとにも行われているところもあると思われませんが、消防署の法からの指導でもありましたが、機会を見つけて自宅やお出かけの際の緊急時の動きについては是非とも話題にさせていただきたいです。</p>													
12	お子様は、場に応じた言葉遣いができていますか？												
	17%	52%	30%	2%	2.8	14%	55%	28%	2%	2.8	14%	55%	28%
<p>当てはまる回答は、昨年度よりも増えた学年がほとんどでした。あいさつと同様に言葉遣いの大切さを知識や経験として学んでいることも数値に表れています。最近では、Uチューブなどインターネット上での動画を観て言葉を覚えて、好ましくない使い方をしている児童もいます。いろいろな言葉が子供たちの周りにあふれているが、それをどのように使うか学校と家庭での指導が必要と考えます。</p>													
14	お子様は、ご家庭で読書をしていると思われませんか？												
	20%	32%	35%	13%	2.6	20%	37%	33%	10%	2.7	20%	37%	33%
<p>経年比較をすると向上している学年が多くなっていますが、当てはまると回答した方が全体で56%と半分ほどにしかすぎないようです。今年度は、司書の先生の工夫で図書室の本の貸し出し数も順調に伸びています。さらに短時間でいいので家族みんな読書をする時間が作れるよう、今一度、家族みんな読書について考えていただきたいと思います。</p>													